

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 活性炭 クラシート #2000  
 会社名 : 株式会社クラレ 鶴海事業所  
 住所 : 岡山県備前市鶴海 4342  
 担当部門 : 品質保証課  
 電話番号 : 0869-65-8331  
 FAX番号 : 0869-65-8341  
 緊急連絡先 : 株式会社クラレ 電話番号 0869-65-8331

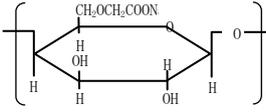
## 2. 危険有害性の要約

	【活性炭】	【ポリウレタン】
分類名称	: 該当しない	該当しない
危険性	: 消防法により指定可燃物として指定されている。	消防法により指定可燃物として指定されている。
有害性	: 粉塵障害防止規則により規定されており、 長期間許容粉塵濃度以上にて作業した 場合、障害を起こす時がある。	該当しない
環境影響	: 該当する報告はない	該当する報告はない
	【ラテックス】	【セロゲン WS-A】
分類名称	: 該当しない	該当しない
危険性	: 該当しない	該当しない
有害性	: 該当しない	該当しない
環境影響	: 該当する報告はない	該当する報告はない

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物(本製品は活性炭を発砲ポリウレタン樹脂に接着させたものです)

化学名	: 【活性炭】	【ポリウレタン】
化学式	: C	$\begin{array}{c} \text{O} \quad \quad \text{O} \\ \parallel \quad \quad \parallel \\ -[\text{O}(\text{CH}_2)_4\text{O C-NH}(\text{CH}_2)_6\text{NHC}]_n- \\ \parallel \\ \text{O} \end{array}$
CAS NO.	: 7440-44-0	68400-69-9
国連分類	: 該当なし	該当なし
化審法 NO.	: 該当なし	該当なし

化学名	: 【ラテックス】	【セロゲンWS-A】
化学式	: $-\text{[CH}_2\text{C(R}_1\text{)(COOR}_2\text{)]}_L-$ $-\text{[CH}_2\text{C(R}_3\text{)(COOR}_4\text{)]}_m\text{[X]}_n-$	
CAS NO.	: 該当なし	9004-32-4
国連分類	: 該当なし	該当なし
化審法 NO.	: 登録済(ポリマー分)	8-203

#### 4. 応急処置

- 目に入った場合 : 眼をこすったりせず流水で15分以上洗浄した後、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹼を用いよく洗う。痛みが起き、持続する場合には、医師の手当を受ける。
- 吸引した場合 : 水で良く口の中を洗浄する。高濃度の浮遊繊維あるいは繊維塵に暴露された場合には、被災者を空気の新鮮な場所に移動させる。そして、喉や他の症状が持続する場合には、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させ、水で良く口の中を洗浄する。直ちに医療処置を受ける。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡消火剤、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム
- 消火に関する指示 : 人員を安全な場所に避難させる。火災の場所に近づかせず、風上に避難させる。自給式呼吸器及び全身保護具の装備を着用する。
- 注意事項 : 十分な酸素状態で燃えると完全燃焼し二酸化炭素と水になる。  
酸素不足状態で燃えると一酸化炭素を含む毒性ガスが発生することがある。

#### 6. 漏出時の措置

- 付近の着火源となりそうな物を、速やかに取り除くと共に、掃き清め蓋付き容器に回収する。
- 市民への影響を及ぼす可能性のある場合は、関係官庁・供給者へ連絡する。風雨による再飛散の恐れのある場合は、シート等によって覆う等考慮する。下水・河川・海域へ流出しない様に注意する。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : ① 防塵マスク・保護眼鏡・ゴム手袋・長靴等、適切な保護具を着用する。  
② 発塵をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つ様に努める。  
③ 缶内等密閉された場所にて取り扱う場合には酸素欠乏状態及び一酸化炭素が発生する場合があります、作業を行う場合には換気に留意して行う。
- 保管 : ① 直射日光を避け、冷暗所に保管する。  
② 火気等、火源から隔離しておくこと。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

	活性炭	ポリウレタン	ラテックス	セロゲン WS-A	備考
管理濃度	: 3.0mg/m <sup>3</sup>	—	—	—	厚生労働省告示
許容濃度	: 2.0mg/m <sup>3</sup> (総粉塵)	—	—	—	日本産業衛生学会
施設対策	: 経常的に取り扱う場合は、局所排気を行う。 手洗、洗眼設備を設ける。				
保護具	: 呼吸用保護具・防塵マスク・保護眼鏡・ゴム手袋・長靴等、状況に応じて適切な保護具を着用する。				

#### 9. 物理的及び化学的性質

- 物質的状态 : 黒色のシート状固体
- 沸点 : なし
- 融点 : なし
- 比重又は嵩密度 : 0.18g/ml 以上
- 溶解度(水) : 溶解しない(活性炭)  
よく溶解する(セロゲンWS-A)
- 吸湿性 : 若干あり

#### 10. 安定性及び反応性

- 発火点 : 200℃以上(活性炭)、160℃以上(ポリウレタン)
- 可燃性 : 消防法により指定可燃物、又、ポリウレタン・ラテックスは火の中で燃える。
- 発火性(自然発火性、水との反応性) : なし。繊維塵、浮遊繊維が高温に蓄積されると火災を起こすことがある(ポリウレタン)。
- 酸化性 : なし。
- 安定性・反応性 : 通常の取扱い条件においては安定。
- 他材料との不適合性 : 強い酸化剤、強酸、強アルカリとは適合しない。
- 分解 : 160℃以上で酸素存在下で分解する。有害な分解生成物: 二酸化炭素、一酸化炭素、及び低分子酸化有機物。

#### 11. 有害性情報

- 活性炭 : 許容濃度以上の粉塵濃度条件下で作業した場合、塵肺障害を起こすことがある為、粉塵障害防止規則で規制されている。その他の有害性情報はなし。(人についての症状、疫学的情報を含む)

#### 12. 環境影響情報

- 活性炭 : 浄水用としても広く用いられており、環境影響情報はない。
- ポリウレタン : 自然環境下で安全です。  
ラテックスは、知見のない項目が多いので、一般環境内には廃棄しない。

#### 13. 廃棄上の注意

- 漏出時の処置並びに取扱い、及び保管上の注意の記載による。  
廃棄する際は、関係法規に従って処分する。(焼却、埋立等)

#### 14. 輸送上の注意

- 紙袋の損傷・破損などを確かめた上、荷崩れ等防止を行う。

#### 15. 適用法令

- 水質汚濁防止法
- 消防法 : 火災予防条例準則の「指定可燃物」に入り(石炭、木炭類 10t以上保管の場合に適用)、法第9条の3による市町村条例に定める取扱い基準に従う。
- 安衛法該当規則 : 粉塵障害防止規則、酸素欠乏症防止規則
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 食品衛生法 : 食品添加物基準…本品は対象外。

#### 16. その他の情報

- 記載事項は、通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いをする場合は、新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえお取扱い願います。